

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成25年度 コンゴ民主共和国



contents

1 森林の概況	1
1.1 経年変化	1
1.2 今後の森林計画等	2
2 REDDプラスへの取組状況	3
2.1 取組開始	3
2.2 REDDプラス実施体制	3
2.3 REDDプラス実施のための国内制度設計	4
2.4 成果フレームワークと予算の概要	6
2.5 REDDプラスへの取組(年表)	7
3 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	8
3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	8
3.2 日本の支援状況	11
4 その他	12
4.1 UNFCCCへの関与情報	12
4.2 UNFCCCへ提出している森林情報	12
4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策	13

1

森林の概況

- コンゴ民主共和国の森林は、低地湿潤熱帯林(森林面積の54%)、サバンナ(同18%)、半落葉乾燥林(同17%)等から構成されている¹。コンゴ民主共和国の森林炭素ストック量は熱帯林諸国の中で第2位であり、REDDプラス実施の高い潜在性を有する²。
- コンゴ民主共和国の森林は全て国有林であるが、法律に基づき地域住民やコンセッション取得者に森林の使用権が付与されている。環境・自然保護・観光省(Ministère des Affaires Foncières, Environnement et Tourisme : MECNT)が森林を管轄している。
- コンゴ民主共和国の1990年から2010年までの平均年間森林減少は311千ha/年、森林面積の年間減少率は0.2%である¹。
- 森林減少は主に大都市近郊で発生しており、焼畑移動耕作及び燃料木採集が森林減少の大きな要因となっている。また、商業伐採及び鉱物採掘は森林劣化の要因となっている。

1.1 経年変化

表 1-1 コンゴ民主共和国の概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ³ (千人)	36,406	49,626	65,966
GDP ³ (百万米ドル)	9,350	4,306	13,145
1人あたりGDP ³ (米ドル/人)	257	106	201
GDP成長率 ³ (%)	-6.6	-6.9	7.2
国土面積 ⁴ (千ha)	234,486	234,486	234,486
森林面積 ⁴ (千ha)	160,363	157,249	154,135
森林率(%)	68.4	67.1	65.7
年平均森林減少面積 ⁴ (千ha/年)	-	311	311
Primary Forest ⁴ (千ha)	-	-	-
Other naturally regenerated forest ⁴ (千ha)	-	-	-
Planted Forest ⁴ (千ha)	56	57	59
Carbon stock in living forest biomass ⁴ (百万t)	20,433	20,036	19,639

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011 : 81.

² 出典：Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – DRC.

³ 出典：UN data

⁴ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. Global Tables.

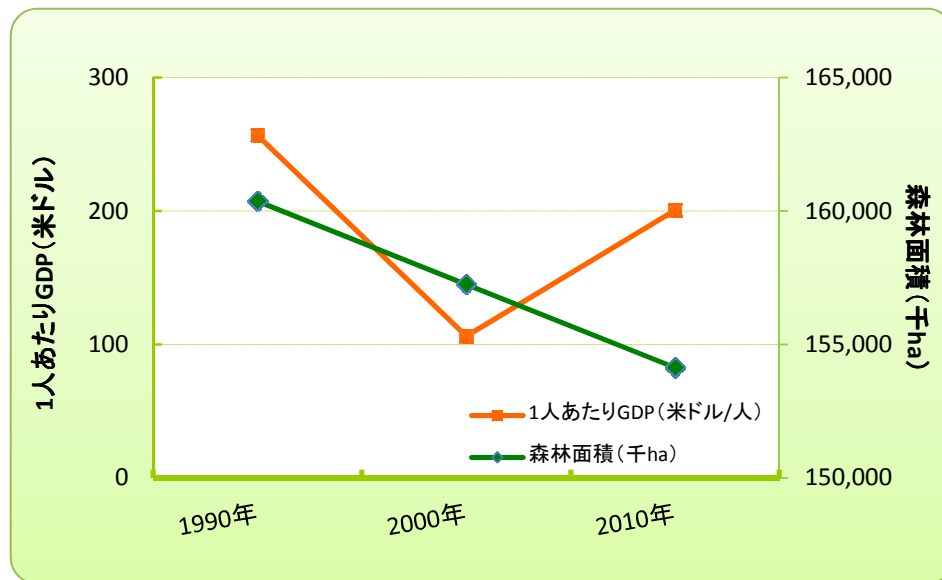


図 1-1 コンゴ民主共和国の1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)⁴

1.2 今後の森林計画等

- コンゴ民主共和国には、国として定めた森林計画はない。ベルギーの植民地であった1949年に定められた規則を継承する形で2002年に森林法(Forest Code)が施行され、森林は国有であるものの、その管理は県レベルの地方政府が担うこととなっている。

2

REDDプラスへの取組状況

2.1 取組開始

- コンゴ民主共和国は、2009年11月の首相令により、国家レベルでのREDDプラス準備のための国家REDDプラス委員会を設立し、REDDに関する政策決定や計画、調整等を行っている。
- 国家プログラム文書がUN-REDDプログラム政策委員会において承認され、2010年10月に署名された後、UN-REDDプログラムの公式な発足を経て、UN-REDDからコンゴ民主共和国への支援資金が同年11月に配分された。
- 現在、取組は政策計画から成果主義へと移行しつつあり、REDDプラスに関する研究やREDDプラスパイロットプロジェクトの試行、研修、地域レベルでの知見共有、国内コンサルテーションプロセスの完了、国内初のREDDプラスカリキュラムの開講などを行っている。

2.2 REDDプラス実施体制

- 政策・意思決定・計画機関として国家委員会 (National Committee) が設置されている。その下に省庁横断の省庁間委員会 (Interministerial Committee) が設置され、さらに各官庁が市民や民間事業者等を調整する構造である。
- 政策・意思決定・計画機関に対する技術的助言は、科学評議会 (Scientific Council) が行う。

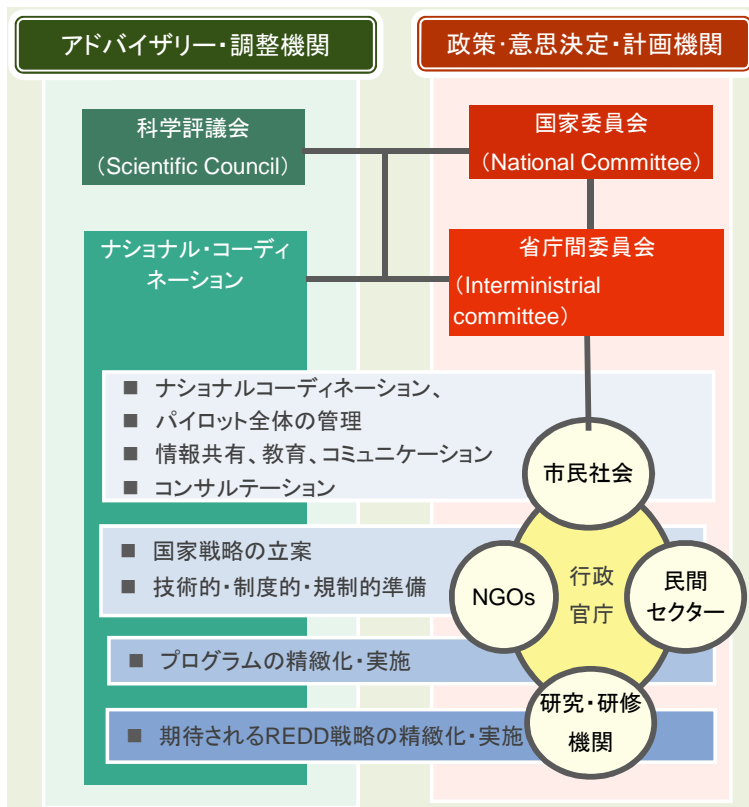


図 2-1 コンゴ民主共和国におけるREDDプラス実施体制⁵

⁵ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 15.

表 2-1 コンゴ民主共和国のREDDプラス関係省庁及びその役割⁶

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境・自然保護・観光省 (MECNT)	<ul style="list-style-type: none"> クリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism : CDM) の指定国家機関 (Designated National Authority : DNA)、REDDプラス政策・戦略の立案を担当
農業省 (Ministry of Agriculture : MOA)	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス政策への農業、農村分野からの情報を提供
エネルギー省 (Ministry of Energy : MOE)	<ul style="list-style-type: none"> 国民の80%が森林由来を含むバイオマスエネルギーに依存するため、エネルギー保全との観点からのREDDプラス政策へ情報を提供
鉱業省 (Ministry of Mines)	<ul style="list-style-type: none"> 銅・コバルトの世界的産地である森林地帯の資源開発と森林保全の調整を担当
インフラ・土木省 (Ministry of Infrastructures, Civil Engineering)	<ul style="list-style-type: none"> 道路等のインフラ設備と森林保全との調整を担当
土地所有省 (Ministry of Land Tenure Affairs)	<ul style="list-style-type: none"> 鉱物開発、インフラ開発、農業開発等と森林保全との調整を担当
計画省 (Ministry of Plan)	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス政策・戦略と国家計画との整合性・調整等を担当
内務・民主省 (Ministry of Interior and Decentralization)	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス政策への地方分権と森林保全分野からの情報を提供
農村開発省 (Ministry of Rural Development)	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス政策への農村開発、農民の生活保護分野からの情報を提供
財務省 (Ministry of Finance : MOF)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ドナーからの援助資金等に関わる調整を担当

2.3 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.3.1 プロセスの構築

- REDDプラスフェーズ1(準備段階)について、2012年末の完了を目指し取組を実施中である。その後、2015年末までがフェーズ2(試行段階)、2016年以降がフェーズ3(完全実施段階)となることが期待されていた。しかし、2013年12月末現在、フェーズ1の取組が継続して実施されており、予定は遅れている。
- 世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) に提出したReadiness Programme Idea Note (R-PIN) において、2012年までに達成すべき目標として、以下が挙げられている。
 - 各県にREDDコーディネーターを1名配置
 - 国ベース、県ベース、現地ベースで市民社会の参加を促し、市民がREDD Climate Work GroupとしてREDDプラス活動ができるようキャパシティ・ビルディングを実施
 - REDD Climate Work Groupやその他の市民社会団体が参画する独立選挙委員会 (The Independent Electoral Commission : IEC) の設置と、県レベルのコンサルテーション計画の策定

⁶ 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 15-17.

- REDDプラスに関する研究、モニタリング、試験的な取組を実施しながら、国家合意戦略を作成
- 2010年にはFCPFへのReadiness Preparation Proposal (R-PP) が承認され、UN-REDDから5.5百万米ドル、FCPFから3.4百万米ドルの資金拠出が承認された。
- 2011年、国家森林モニタリングシステムを公式に立ち上げた。

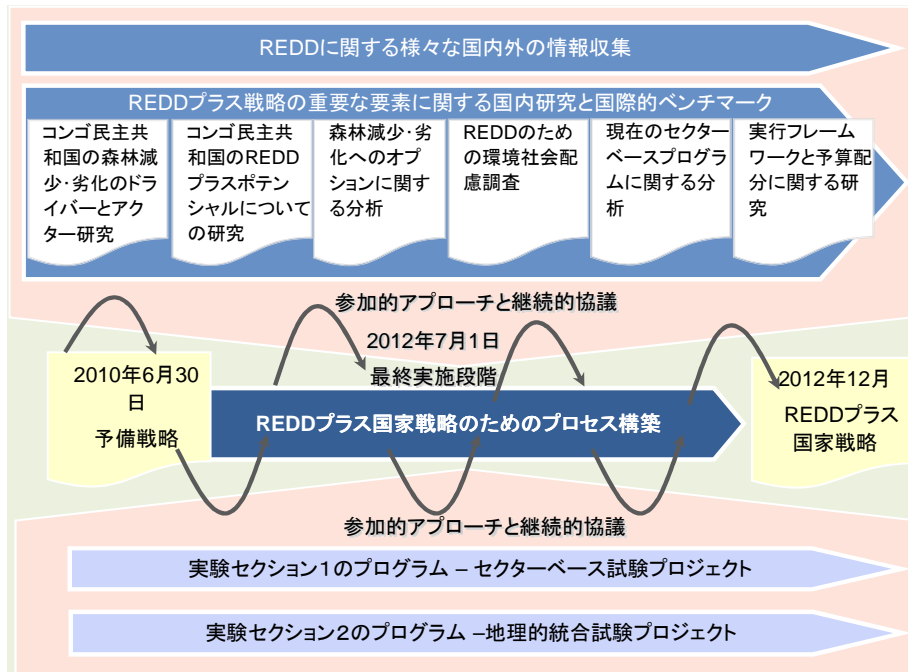


図 2-2 コンゴ民主共和国のREDDプラス国家戦略構築プロセス⁷

2.3.2 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- REDDプラス実施にあたっての明確な許可制度はない。
- プロジェクトにおいては、土地の使用権を有する地域コミュニティとプロジェクト実施者の間で契約を締結し、プロジェクト実施者が活動実施の許可 (Consession) を政府から取得している例がある⁸。

2.3.3 利益配分システム

- 利益配分システムは構築されていない。
- 土地の使用権を有する地域コミュニティとプロジェクト実施者の間で炭素権に関する協定 (Carbon Right Agreement : CRA) を締結している例がある⁸。

⁷ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 12.

⁸ 出典：Wildlife Works Department of Carbon Development (2012) The Mai Ndombe REDD+ Project.

2.4 成果フレームワークと予算の概要

- コンゴ民主共和国は、R-PPにおいて、自国のREDDプラスに関する活動の成果及びその実施体制、成果を評価する指標を、表2-2の通り定めている。

表 2-2 コンゴ民主共和国における成果フレームワーク⁹

期待される成果	主たるパートナー	成果の評価指標
2030年 国家 REDDプラス戦略を参加型方式で策定し、実行する準備が可能となっていること	国家委員会、省庁間委員会、National Coordination for REDD (CN-REDD)、Climate and REDD Working Group from Civil Society (GTCR)、United Nations Development Programme (UNDP)、世界銀行、国際連合食糧農業機関 (Food and Agriculture Organization : FAO)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDの幅広い関係者の合意点となるような、質が高く目標値の高い国家REDDプラス戦略が策定されること ■ 決定ツール(参照シナリオ等)、及び戦略的環境評価(Strategic Environmental Assessment : SEA)に依拠した戦略的かつ関連する複数分野へ予算が適切に配分されたREDDのための投資計画が策定されること
REDD実行のための制度的枠組を暫定的に作成し、2013年からの開始に向けて準備が可能となっていること	国家委員会、環境・自然保護・観光省(MECNT)、CN-REDD、世界銀行、United Nations Environment Programme (UNEP)、UNDP	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボン・プロジェクト及びイニシアティブの登録が機能していること ■ カーボンファイナンスマネジメントのための暫定的な国家ファンド・メカニズムが整備されていること ■ 環境社会アセスメントの手続きが整備されていること
REDDのための包括的なMRVシステムの構築と運用	Directorate of Forest Inventory and Planning (DIAF)、CN-REDD、FAO、世界銀行、UNEP	<ul style="list-style-type: none"> ■ GHG排出権(森林減少/劣化)のための測定・報告・検証(Measurement, Reporting, Verification : MRV)システムが国レベルで運用・管理可能であること ■ 社会・環境的コントロール及び経済的なMRVシステムが整っていること

- コンゴ民主共和国のR-PPに示された予算のほとんどは、表2-3のとおり、外部の資金援助によっている。

⁹ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 13.

表 2-3 準備段階(2010-2012年) 予算の概要¹⁰

(単位:千米ドル)

準備段階のための予算(A)	22,717
コンゴ民主共和国の予算合計(B)	1,827
現在実施中のUN-REDD/FCPF	1,227
国際熱帯木材機関(International Tropical Timber Organization : ITTO) / REDDES	600
上記予算(A)のうち外部資金で賄われる費用(A-B) = F + G	20,890
UN-REDDとFCPFへの資金要請(D + E) = F	8,900
世界銀行FCPFへの資金要請(D)	3,400
UN-REDDへの資金要請(E)	5,500
うちUNDP	2,185
うちFAO	2,343
うちUNEP	972
協調融資(Congo Basin Forest Fund (CBFF)及び他の二国間ドナーからの財政支援)(G)	11,990

2.5 REDDプラスへの取組(年表)

表 2-4 REDDプラスに関する主な取組

REDDプラスに関する主だった取組	
2008年	<ul style="list-style-type: none"> FCPFにR-PINを提出
2009年	<ul style="list-style-type: none"> 1月、UN-REDD/FCPF及びパートナーと初の合同会議を開催 5月、UN-REDDより資金援助(1.8百万米ドル)の供与実施 8月、首都Kinshasaにて国家プログラム開始のワークショップを開催し、さらに9月から2010年2月にかけて5つの州都(Kisangani, Bukavu, Matadi, Mbandaka, Lubumbashi)においてREDD関連のワークショップを開催 11月、REDDナショナルコーディネーションを官庁化し、REDDプラス委員会を設立することを定めたREDD首相令(A decree by the Prime Minister N°09/41)の発令
2010年	<ul style="list-style-type: none"> 1~2月、FCPFへ提出したR-PPの決定及び国家認証 3月、UN-REDDがコンゴ民主共和国への5.5百万米ドルの資金拠出を承認 3月、UN-REDD及びFCPF参加委員会のためのR-PPのプレゼンテーション、準備段階のための8.9百万米ドルの追加資金投入決定 6月、世界銀行の森林投資プログラム(Forest Investment Program : FIP)に選定(支援資金65百万米ドル) 8月、Kinshasaで初のREDDプラス大学(REDD+ University)講義開講(2012年にも第3回講義開講、800人が受講)
2011年	<ul style="list-style-type: none"> 6月、国際連合の気候変動関連会議において、国家森林モニタリングシステムの新規立ち上げについてプレゼンテーションを実施 10月、REDDプラスのハイレベルイベントを開催(ノルウェー、UNEP、UN-REDD事務局の支援による) 12月、COP17サイドイベントにおいて、国家森林モニタリングシステムを構築したことを発表
2012年	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラスのためのマルチドナートラストファンドの設立に向けた協議を財務省(MOF)とUNDPが実施 国家REDDプラス戦略を策定し、12月のCOP18にて公開
2013年	<ul style="list-style-type: none"> 5月、準備段階の取組実施に向けた資金支援として、FCPFが2,178千米ドルを拠出

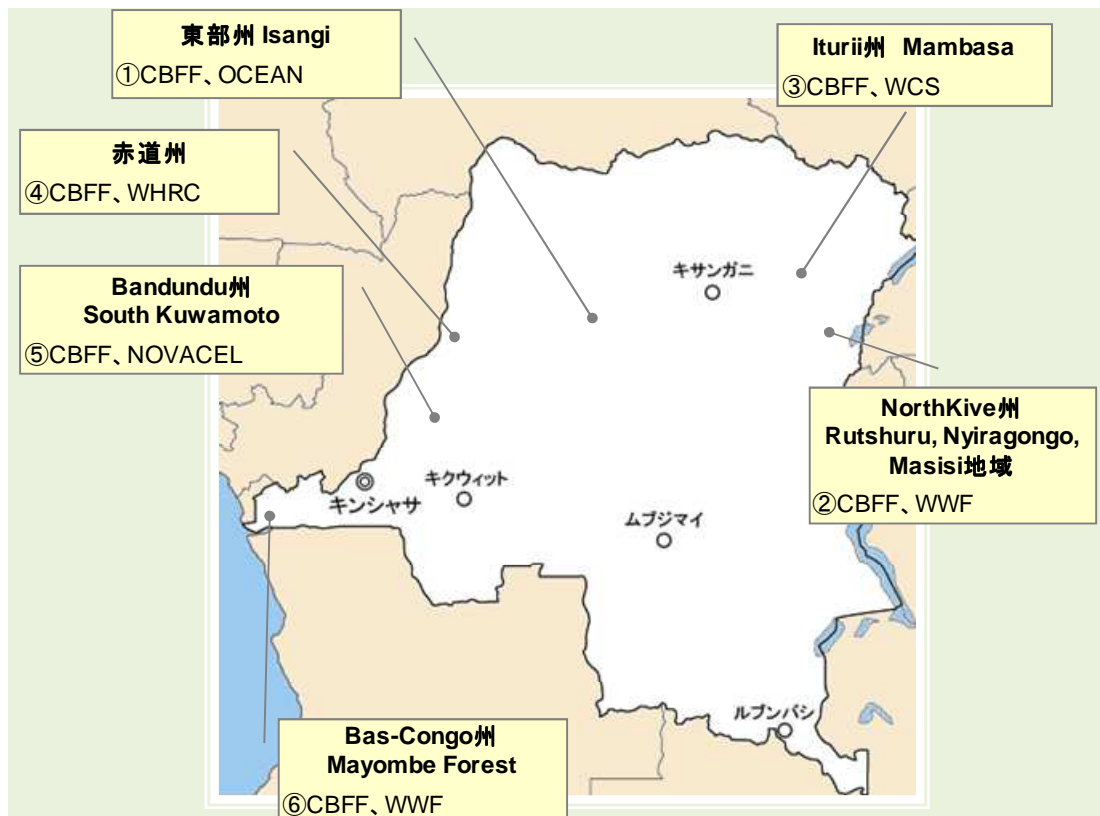
¹⁰ 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 14.

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- 英国とノルウェーが2008年から共同で運営を開始したコンゴ流域森林基金(Congo Basin Forest Fund : CBFF)を原資に、様々な機関がREDDプラスプロジェクトを実施してきた。
- その他、FCPFの支援を受けたREDDプラスのプロジェクトも実施されている。



(注) 2013年12月31日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

図 3-1 コンゴ民主共和国における主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

表 3-1 コンゴ民主共和国における主だったREDDプラス関連事業実施及び資金援助の状況

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
①	国際基金	Congo Basin Forest Fund (CBFF)、英国及びノルウェー政府、Joint Organization of the Ecologists and Friends of the Nature (OCEAN)	東部州 Isangi	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Isangi Geographically Integrated REDD Pilot project」¹¹。 予算規模2,490千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 土地利用計画及び村ベースの森林管理計画の策定、アグロフォレストリー及び再植林の促進、持続可能な森林管理に関する情報提供と教育を通じて、持続可能な森林管理を実施。
②	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、World Wide Fund for Nature (WWF)	North Kive州 Rutshuru, Nyiragon go, Masisi地 域	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project」¹²。 予算規模2,490千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 植林、マイクロ植林、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、薪炭林の違法伐採抑制、木材利用分野の研究を通じて、持続可能な森林管理を実施。
③	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Wildlife Conservation Society (WCS)	Ituri州 Mambasa	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Mambasa Geographically Integrated REDD Pilot Project」¹³。 予算規模2,980千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 準国ベースでのREDDプラス実施を通じて、2013年からコンゴ民主共和国が取り組む国家REDD戦略策定に役立てることを目指す。
④	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Woods Hole Research Center (WHRC)	赤道州	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Civil Society and Government Capacity Building within the REDD Framework」¹³。 予算規模 3,210千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 赤道地区で持続可能な森林管理を行うために、情報共有による透明性の確保やコミュニティとの関係構築を実施。

¹¹ 出典：CBFF（2010a）Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report,

¹² 出典：CBFF（2010b）Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report,

¹³ 出典：CBFF（2010c）Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report,

表 3-1 つづき

	事業/ 支援 タイプ	主だった実施 主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
⑤	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、NOVACEL	Bandundu州	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project」¹⁴。 予算規模2,500千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 苗床の設置、アグロフォレストリーを通じて、持続可能な森林管理を実施。
⑥	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、WWF	Bas-Congo州 Mayombe Forest	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest」¹⁵。 予算規模2,330千ユーロ、実施期間は2011～2013年の3年間。 種子生産、小規模森林管理、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、地域のNGOや地域住民、先住民のキャパシティ・ビルディングを通じて、持続可能な森林管理を実施。
■ 資金支援				
—	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Project of Support for the Community Implementation of Forests in DRC」¹⁶。 予算規模7.6百万ユーロ、実施期間は3年間。 国家REDD戦略策定、コミュニティ林業の実施を支援。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

¹⁴ 出典：CBFF（2011a）South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report.

¹⁵ 出典：CBFF（2011b）Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report.

¹⁶ 出典：CBFF（2012）Democratic Republic of Congo.

3.2 日本の支援状況¹⁷

- 次の無償資金協力を実施してきた。
 - 環境プログラム無償「森林保全計画」(2010年) : 10億円の資金を提供し、森林減少の抑制や温室効果ガス(Greenhouse Gas : GHG)の排出量削減の支援を実施。
 - 「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画」(2011年) : ITTOと連携し、278百万円(ただし、カメルーン共和国、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国及び中央アフリカ共和国に対する合計額)の資金を提供し、森林保全分野のキャパシティ・ビルディング支援を実施。
- 国際協力機構(JICA)は、次のREDD関連事業を実施している。
 - 技術協力プロジェクト「持続可能な森林経営及びREDDプラスのための国家森林インベントリ整備支援プロジェクト」(2012～2016年) : 300百万円の調査費用を用い、国家森林資源インベントリシステムの構築、システム運用計画の策定、運用に向けての政府職員のキャパシティ・ビルディングを実施。

¹⁷ 出典 : JICA (2012) REDD-Plus.

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況¹⁸

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月11日、批准：1995年1月9日
京都議定書	署名：なし、批准：2005年3月23日
DNA担当組織	環境・自然保護・観光省(MECNT)
第1次国別報告書	2001年10月31日提出
第2次国別報告書	2009年11月27日提出

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ

- コンゴ民主共和国は14の途上国が参加する Low Emission Capacity Building Programmeに参画し、EU、ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省(Bundesministerium für Umwelt, Naturschutz und Reaktorsicherheit：BMU)及びUNDPの資金支援により、低排出開発戦略(Low Emission Development Strategy：LEDS)及びNAMAsの計画を策定することになっているが、REDDプラスをはじめとする事柄の進捗等の情報は示されていない¹⁹。

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/R CDMのための森林定義²⁰

項目	値
森林面積	最小0.5ha
樹冠率	最低30%
樹高	最低5m

表 4-3 A/R CDMの対象森林²⁰

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

¹⁸ 出典：UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo.

¹⁹ 出典：EU, UNDP (2011) Low Emission Capacity Building Programme.

²⁰ 出典：UNFCCC (2013b) Designated National Authorities.

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- REDDプラス大学においてREDDプラスの講座を開設して、幅広い関係者への知見共有に注力する他、民間セクターとの共同による森林支援にも力を入れている。
- 2006年の貧困削減・成長戦略文書(The DRC's Poverty Reduction and Growth Strategy Paper : DSRP)も、森林保全の強化を明示している。

出典・参考資料

- CBFF (2010a) Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Policy-Documents/DRC - ISANGI - Pilot Project - CBFF - APPROVED.pdf>
- CBFF (2010b) Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC - Approved - Geographically integrated Ecomakala+ REDD pilot project.pdf>
- CBFF (2010c) Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC - Mambasa Pilot Project - CBFF - APPROVED.pdf>
- CBFF (2011a) South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report. ADB [http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC-CBFF_Approved\(2\).pdf](http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC-CBFF_Approved(2).pdf)
- CBFF (2011b) Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report. ADB [http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC - Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest - Approved \(3\) \(2\).pdf](http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC - Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest - Approved (3) (2).pdf)
- CBFF (2012) Democratic Republic of Congo. CBFF <http://cbf-fund.org/en/Republique-democratique-du-Congo>
- Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – Democratic Republic of Congo. UN-REDD <http://www.un-redd.org/UNREDDProgramme/CountryActions/DemocraticRepublicofCongo/tabid/1027/language/en-US/Default.aspx>
- Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version. FCPF http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Jul2010/R-PP_V3.1_English_July2010.pdf
- Democratic Republic of Congo (2012) REDD Readiness Progress Fact Sheet. FCPF https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/R-PP_Progress_Fact_Sheet_-_DRC_-_Sept_2012.pdf
- EU, UNDP (2011) Low Emission Capacity Building Programme. UNDP http://www.undp-alm.org/sites/default/files/downloads/lecbpbrochure_2_6web.pdf
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO <http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011 : 81. ITTO http://www.itto.int/news_releases/id=2663
- JICA (2012) REDD-Plus. JICA <http://www.jica.go.jp/publication/pamph/pdf/redd.pdf>
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo. UNFCCC <http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=CD>
- UNFCCC (2013b) Designated National Authorities. UNFCCC <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- Wildlife Works Department of Carbon Development (2012) The Mai Ndombe REDD+ Project. VCS <https://vcsprojectdatabase2.apx.com/myModule/Interactive.asp?Tab=Projects&a=2&i=934&lat=-1.659042&lon=17.893816&bp=1>

本レポートは、2013年12月31日までに公表された情報に基づく。